

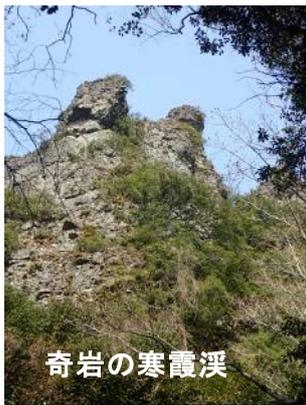
① —④ 小豆島 ^{かんかけい} 寒霞溪 ^{ほしがじょうさん} ～星ヶ城山 816. 1m 2014年3月22日

【小豆島 寒霞溪～星ヶ城山 山行記録】

6:50 坂出集合---7:50 高松港発---8:40 小豆島草壁着、9:00 草壁発バス---9:13 第2景・紅雲亭着、9:25 紅雲亭→9:33 第5景・蟾蜍巖(せんじょがん)→9:40 第6景・玉旬峰(ぎょくじゅんぼう)→9:42 第7景・画帖石(がちょうせき)→9:54 第9景・荷葉岳(かようがく)→10:10 第12景・四望頂(しばうちょう)→10:25 寒霞溪トイレ休憩→11:28 泊グループと会う→11:35 星ヶ城山頂上着、昼食、12:10 発→13:05 寒霞溪トイレ休憩、13:15 寒霞溪発→13:50 紅雲亭着、14:00 紅雲亭バス---14:13 草壁着、16:15 発フェリー---17:15 高松港着---18:00 坂出着解散

坂出体育館横へ 6:50 集合、乗り合わせて高松へ向かい、7:50 の高速艇で小豆島草壁港へ。草壁港からはバスでロープウェイ乗り口の紅雲亭まで行き、いよいよ表12景から登山開始。

瀬戸内海国立公園の象徴、日本三大溪谷美“妙義山(群馬県)、寒霞溪(香川県)、耶馬溪(大分県)”。の一つとして知られる寒霞溪。変化にとんだ溪谷は、浸食された岩々がおもしろい形を造り上げ、小豆島が誇る景勝地となっています。



奇岩の寒霞溪

第2景・紅雲亭からは暫く舗装道が続く中、野生の猿を横目に、表12景を眺めながら黙々と先を目指し星ヶ城へ。第12景・四望頂(昔は、ここが寒霞溪の頂上)～寒霞溪と順調なスピードで進み、11時半頂上手前で前日からの先発グループと会うことができました。星ヶ城山の頂上ではゆっくりと昼食をとり記念撮影をして、登ってきた表12景を下山しました。予定より早いことから帰りは14:45発の高速艇に乗る案も出ましたが、そうすると念願の“しょうゆソフトクリーム”を食べに行く時間がなくなってしまうことから、早い便に乗る案は速やかに却下となりました。

12:10 出発し13:05 寒霞溪着、投げ銭などを楽しみ 13:15 出発。13:50 には紅雲亭に着き 14:00 発草壁行きバスに乗りました。13分後に草壁港に着くと、バス停でも先発グループと会うことができ、希望者で、“しょうゆソフトクリーム”を食べに行くことができました。



東峰・星ヶ城山山頂



草壁まで戻り反省会をし、16:15 草壁発高松行きフェリーにて帰路に着きました。

爽やかな好天に恵まれ、春のハイキングを楽しむことができました。



紅雲亭



登山道